令和６年２月１４日
中部の未来創造大賞推進協議会

◆NEWS RELEASE◆

第２４回中部の未来創造大賞に「磯焼けからの藻場再生、維持へ～持続可能な保全活動を目指して～」（愛知県）が決定しました！

～優秀賞、特別賞も併せて決定しました～

「中部の未来創造大賞」は、新しい時代にふさわしい中部の発展とその啓発の促進を目的に、中部５県の優れた地域づくりのための活動を行う住民、NPO、企業、学校、行政等を表彰する制度で、今回は２８件の応募をいただきました。
この度、「第２４回中部の未来創造大賞」の受賞者が、以下のとおり決定しましたので、お知らせします。

１．受 賞 者

大　賞１件　活動名：「磯焼けからの藻場再生、維持へ
～持続可能な保全活動を目指して～
団体名：特定非営利活動法人 SEA 藻　（愛知県）

優秀賞３件

特別賞２件（中部経済連合会賞１件、中日新聞社賞１件）

２．表 彰 式

日　時：令和６年２月２８日（水）１４時から
場　所：名古屋銀行協会会館　２階　２０１号室
名古屋市中区丸の内 2-4-2　TEL　052-231-7851

３．資　料：別紙(受賞者一覧他)

４．同時配布：愛知県政記者クラブ、
長野県庁会見場、岐阜県政記者クラブ、
静岡県政記者クラブ、三重県庁内記者クラブ

５．問合せ先：中部の未来創造大賞推進協議会事務局
一般社団法人　中部地域づくり協会　業務管理部
業務管理部長　近藤　正幸、副参事　宮地　賢
TEL　052-962-9455

【中部の未来創造大賞推進協議会】
国土交通省中部地方整備局、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、静岡市、浜松市
名古屋市、中日本高速道路株式会社名古屋支社、名古屋高速道路公社
独立行政法人水資源機構中部支社、日本下水道事業団東海総合事務所
独立行政法人都市再生機構中部支社、公益社団法人土木学会中部支部
一般社団法人中部地域づくり協会、一般社団法人日本建設業連合会中部支部
一般社団法人建設コンサルタンツ協会中部支部、一般社団法人長野県建設業協会
一般社団法人岐阜県建設業協会、一般社団法人静岡県建設業協会
一般社団法人愛知県建設業協会、一般社団法人三重県建設業協会、株式会社中日新聞社

【後援】一般社団法人中部経済連合会

第２４回　中部の未来創造大賞受賞者一覧

大　賞（１件）

活　動　名	団　体　名	県名
磯焼けからの藻場再生、維持へ ～持続可能な保全活動を目指して～	特定非営利活動法人 SEA藻（しーも）	愛知県

優秀賞（３件）

活　動　名	団　体　名	県名
ミツバチと共に生きる地域作り ～継続した高校生のＳＤＧｓ～	愛知県立愛知商業高等学校 ユネスコクラブ	愛知県
起小（おこししょう）ジャブジャブ池を生まれ変わらせよう大作戦	愛知県立一宮高等学校 生物部	愛知県
地域の自然と文化を残そう！	NPO 法人 浜松市東区の 自然と文化を残そう会	静岡県

特別賞：中部経済連合会賞（１件）

活　動　名	団　体　名	県名
「世界に誇ろう！須走の景観と富士山」 巡拝の道づくりと景観向上活動	須走まちづくり推進協議会	静岡県

特別賞：中日新聞社賞（１件）

活　動　名	団　体　名	県名
ミツバチと共に生きる地域作り ～継続した高校生のＳＤＧｓ～	愛知県立愛知商業高等学校 ユネスコクラブ	愛知県

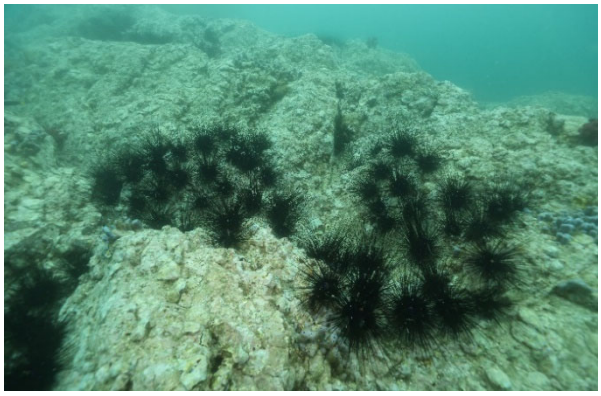
【第２４回中部の未来創造大賞】

●　大　賞

活動団体：特定非営利活動法人 SEA 藻　（愛知県）

活 動 名：磯焼けからの藻場再生、維持へ
～持続可能な保全活動を目指して～

活動内容：魚介類の生態系として重要な機能を持ち、日本の水産資源を支える場としての藻場を再生・維持することを目的に、2014 年から三重県熊野灘海域においてウニ類（ガンガゼ）を駆除することで海藻が増加すると報告された手法を用い、ダイバーによるガンガゼ駆除活動を継続して実施している。



磯焼けの様子

再生した藻場の様子

ウニ類（ガンガゼ）を駆除するダイバー

ご協力を得ているダイバーと漁業者

● 優秀賞　・　特別賞　（中日新聞社賞）

活動団体：愛知県立愛知商業高等学校　ユネスコクラブ　（愛知県）
活 動 名：ミツバチと共に生きる地域作り　～継続した高校生のＳＤＧｓ～
活動内容：学校周辺にある名古屋近代化の歴史遺産が多く残るエリア「文化のみち」の持続可能な街づくりへの貢献を目指し、高校生が主体となり、「なごや文化のみちミツバチプロジェクト」を立ち上げ、校舎屋上で都市型養蜂を始め、自然環境の向上,地域との繋がりを深めるコミュニティ活動、社会貢献型商品の開発、被災地との交流など「地域」「経済」「環境」を組み合わせた活動を行っている。

ミツバチの定期点検をする生徒達

オリジナル商品販売

● 優秀賞

活動団体：愛知県立一宮高等学校　生物部　（愛知県）
活 動 名：起小ジャブジャブ池を生まれ変わらせよう大作戦
活動内容：約 30 年前に小学校内に作られた「ジャブジャブ池」という生物の観察池を改修するため、小・中・高生、有識者等が連携し、木曽川のような環境に触れられる生き物や自然環境に興味関心を抱ける持続可能な教育現場をつくるとともに、ビオトープとして改修する活動を行っている。

池底の基礎作り

モツゴやエビを小学生と一緒に放流

● 優秀賞

活動団体：NPO 法人 浜松市東区の自然と文化を残そう会　　（静岡県）
活 動 名：地域の自然と文化を残そう！
活動内容：郷土の偉人、大正時代に活躍した俳人、松島十湖が愛した十湖池を、往時の豊かな自然を再現し、ビオトープとして甦らせた「十湖池ビオトープ」の整備作業や各種イベント等の活動を実施している。

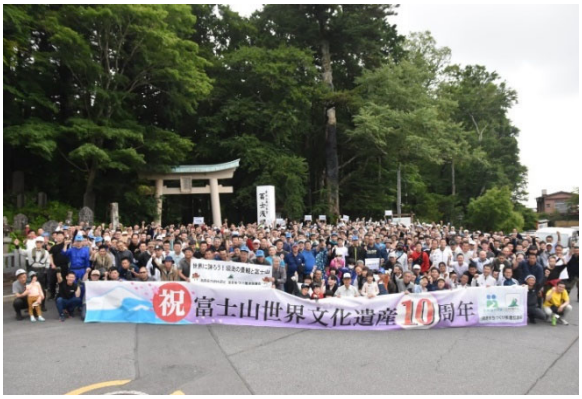
アメリカザリガニ釣りは大人気

個人植樹
どんぐりの芽生えをビオトープで育ててから山に植樹

● 特別賞　（中部経済連合会賞）

活動団体：須走まちづくり推進協議会　　（静岡県）
活 動 名：「世界に誇ろう！須走の景観と富士山」　巡拝の道づくりと景観向上活動
活動内容：富士山の世界文化遺産登録をきっかけに、構成資産のあるまちづくり推進のため、自治会を中心に地域内の団体、事業者により平成２５年に当協議会を設立し、富士山須走口の再興、登山道入口周辺の景観整備などの活動を行っている。

登山道ガードレール塗装



登山道入口での記念撮影